

第16回宇宙民生利用部会 議事要旨

1. 日時：平成29年5月29日（月） 15:00－16:30

2. 場所：内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

（1）委員

中須賀部会長、白坂部会長代理、石田委員、岩崎委員、遠藤（典）委員、後藤委員、柴崎委員、高山委員、仁藤委員、林委員、山川委員、山本委員

（2）事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

高田事務局長、佐伯審議官、高見参事官、行松参事官、松井参事官、佐藤参事官

4. 議事要旨

（1）宇宙産業ビジョン2030について

事務局から資料1-1、1-2に基づき説明を行った。委員からは以下のような意見等があった。（以下、○意見等）

○内容は包括的で全体像をつかんであり良く出来ている。リスクマネーの供給という重要な取組もしっかりと記載をされており、高く評価できる。

○今後は、宇宙基本計画工程表に盛り込んで行動に移すことで、宇宙産業ビジョンを具体化していくことが重要である。

（2）宇宙データ利用促進等について

総務省、経済産業省から説明を行った。委員からは以下のような意見等があった。（以下、○意見・質問等、●回答）

○宇宙産業ビジョンに示されている宇宙データのオープン＆フリーの取組については、各府省においてどのような役割分担をしていくのか。

●経済産業省において検討会を立ち上げ、今後の取組の在り方について検討をしている。

○宇宙データをオープン＆フリーにする場合には、海外企業でも利用できる状態になるため、国内企業が成長するような支援策も併せて講じていくことが重要である。

○宇宙データ利用の研究開発は世界的に競争が激しいので、情報通信研究機構（NICT）や産業技術総合研究所などにおいてデータ利用プラットフォームやこれに伴う解析ソフトを早期に整備することを期待する。

○中長期的な将来を見据えた施策と、短期的に対応すべき施策を組み合わせ対応していくことが重要である。

（3）宇宙基本計画工程表の中間取りまとめについて

事務局から参考資料に基づき説明を行った。委員からは以下のような意見等があった。（以下、○意見等）

○宇宙産業は2020年以降の国の大きな成長戦略の柱になると考えるので、これを念頭に置いた2020年以降の戦略を検討すべき。

○防災分野の取組について、何が必要とされるのかをしっかりと考え、これに基づき宇宙をどのように防災分野に活かしていくのかを考えていくべき。

(4) その他

事務局から資料3に基づき説明を行った。委員からは以下のような意見等があった。

(以下、○意見・質問等、●回答)

○インフラの維持・管理における宇宙データの利用についても、今年度に調査を実施してはどうか。

○宇宙データ利用プラットフォームについては、昨年度の調査分析の対象としたのか。

●昨年度は海外の戦略等に関する全般的な調査分析であったが、今年度はプラットフォームの深堀について議論することも検討する。

以 上